

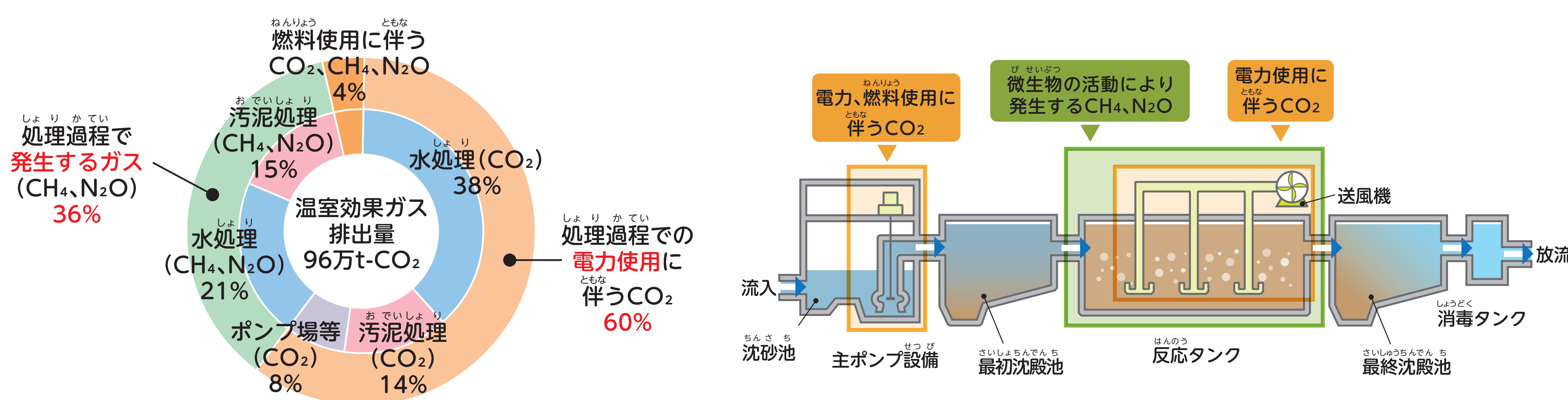
脱炭素の取組①



下水道事業から発生する温室効果ガス

下水道事業では、ポンプなどの機械を動かすために電力や燃料などのエネルギーを使うため、多くの二酸化炭素(CO₂)を排出しています。

また、汚れた水をきれいにする過程で、微生物がメタン(CH₄)や一酸化二窒素(N₂O)といった温室効果ガスを排出するという特徴があります。



下水道事業の温室効果ガス排出量 (2022年度)

水処理における主な温室効果ガス排出要因

札幌市下水道脱炭素構想

多くの温室効果ガスを排出する下水道事業の脱炭素化を計画的に進めていくため、令和6年(2024年)3月に「札幌市下水道脱炭素構想」を策定しました。



「札幌市下水道脱炭素構想」のリンク先

脱炭素に向けた方針

「次の100年を見据え、下水道施設の再構築に合わせた取組やエネルギーの供給拠点として多様な分野等との連携を進めることで、脱炭素社会の形成に寄与します。」

温室効果ガスの削減目標

【札幌市気候変動対策行動計画における市役所の事務・事業の目標】	
2030年目標	2016年比: 温室効果ガス排出量 60%削減
【2022年11月、札幌市が「脱炭素先行地域」に選定されたことに伴う目標】	
	市有施設での電力消費に伴うCO ₂ 排出量の 実質ゼロ
2050年目標	温室効果ガス排出量の 実質ゼロ